（リスクアセスメント）作業手順書　後編

会社名	中日本ハウス(株)千葉営業所	施工ステータス	主な現場、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	平成29年度12月	現場内	解体作業用高所作業車	電動ハンマー、解体用ブレーカー	高所足場パネル、解体用安全網	ネット（ラボスクリーン#1004（平田織維㈱）））
改訂日	令和元年度12月	下場	解体用高所作業車	ブロアー	保護メガネ、下段の切断防止用保護衣	
作成者	海野茂　山口			チェーンソー、チルホール	熱心入り足袋	
必要資格等	運転免許（小型移動式クレーン運転技能講習）、玉掛技能講習、高所作業車運転技能講習				作業人員 6～8名	その他
	チェーンソー等農具安全衛生教育修了、チェーンソーによる伐木等の業務に係る特別教育				交通保安員 1～2名	
	小型移動式クレーン運転技能講習、玉掛技能講習、高所作業車運転技能講習修了					

可能性	一年に1度程度	2～3年に1回程度	5～10年に1回程度	×	重大性	軽傷（手当て要）	重大（休業災害）	極めて重大（死亡・後遺症）	=	評価	作業要員の必要人数	作業に必要な技能	熟練に必要な経験
	発生率＝1	発生率＝2	発生率＝3		発生度合い	発生度合い＝1	発生度合い＝3	発生度合い＝5			1～2	1～3	5～10

作業工程	施工ステータス	No.	単位作業とその主な手順	危険有害要因（予測される災害・事故）（品質、トラブルも含む）	評価 危険性	評価 頻度	評価 重大性	危険有害要因低減対策	誰が 責任者・職種	対策後 評価 危険性	対策後 評価 頻度	対策後 評価 重大性	参考資料（別紙も可）
・仮設足場・ヤーディング													
解体作業	共通	1	現場入場時のKYをする。	現場、施工方法等について不安な知識を感じている。	2	3	3	新規入場者の安全	職長	1	1	2	別紙KY用紙を使用し、作業開始（朝礼）、作業終了（夕礼）を行う。
	共通	2	現場状態を確認する。	崩壊、転倒等により足等挟まれがおきる。	2	3	3	地盤の確認、フカシ・ネバりを行う。	職長	1	1	2	
	共通	3	現場、保安用具の点検をする。	保護具が破損していて感電、怪我をする	2	3	3	保護具の点検を行う。不適当な物は、使用禁止を守り廃棄する。	全員	1	1	2	
	共通	4	現場・工具等の点検をする。	現場、工具が故障していて感電しない。	2	3	3	作業場所の整理・整頓を行い、ケガ防止を心がける。（特に足元）	職長	1	1	2	
	共通	5	足場、ヤーディングを行う。	足場が不安定で転倒する。	2	3	3	現場、工具の故障箇所点検をする。	全員	2	1	2	
	共通	6	作業手順の確認する。	作業手順が不安定で、怪我の不安定が起こる。	2	3	3	ヤーディングの足場は不安定なので、ヤーディングの足場を作る。	全員	2	1	2	
	共通	7	重用点検、整理、ブレーキ、ハッ等をする。	重用不良で事故する。	2	3	3	重用点検、整理、ブレーキ、ハッ等を使用する。	全員	1	1	2	
				ハッ、ワイヤロープ等をする。	2	3	3	故障箇所は重要設置する。	運転手	1	1	2	
				ブレーキ、ブリ等の点検、整備する。	2	3	3	故障箇所、ブレーキ、ブリ等の点検、整備を定期的に実施する。	職長	1	1	2	
・解体・小型移動式クレーン運転作業													
切断	解体作業	1	足場ハッ・ヤーディング組をする。	人身、物損事故、機械・電線破損、ハッ・ワイヤ、あおり損傷。	2	3	3	ハッ・ワイヤ・あおりの点検を行う。	運転手	1	1	2	
	解体作業	2	高速道路に入る前には、ブレーキ確認をする。	ブレーキ故障で事故を起こす。	2	3	3	高速道路に入る前に高速確認する。	運転手	1	1	2	
			（ヤーディング組）					（ヤーディング組）					
	解体作業	3	現場進入路の路面状況を把握する。	路面状態が、ぬかるんでいる。	2	3	3	作業ヤード、高速道路の確認、路面状況の点検を実施する。	職長	1	1	2	
	解体作業	4	進行方向及び安全帯、（現場内）で注意	・・・